



# 高度実践看護学講座

増島 麻里子

MASUJIMA Mariko



## ■自身の研究テーマ

国立がん研究センター中央病院での臨床経験から、がん看護に関連する研究に取り組んでいます。

[修士論文] がん患者と家族の再発期の意味づけ

[博士論文] リンパ浮腫予防指導の外来看護構築

[Key Words]がん患者と家族に関わる研究、サポートグループ、エンドオブライフケア  
アドバンスケアプランニング、リンパ浮腫ケア など

## ■関連リンク

プロフィールなど <https://www.n.chiba-u.jp/adult-gerontological/>

研究業績など [https://researchmap.jp/mmasujima/published\\_papers](https://researchmap.jp/mmasujima/published_papers)

千葉大学特色ある研究活動の成果 「人生の最期を自分らしく生きることを支える対話をどう進めるか？」  
[https://www.chiba-u.ac.jp/research/coe\\_gp/result/nursing/35.html](https://www.chiba-u.ac.jp/research/coe_gp/result/nursing/35.html)

科学研究費による研究 <https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000040323414/>

<研究代表者として遂行中の研究課題>

- ①2021 - 2023年挑戦的研究（萌芽）：死生観涵養に向けてよりよく生きることを考えるシティズンサイエンスの創発
- ②2022 - 2025年基盤研究（B）：Withコロナ時代のICTツールによる高齢者主体型の終末期対話プログラムの構築

## 書籍など

①病棟・外来から始めるリンパ浮腫予防指導,医学書院,2012年

②【在宅でがん患者を看取る-体調の変化の「ちょっと先」を予測し、備えよ】

がん終末期にある在宅療養者へのケア 患者・家族と、何をどう話すか,訪問看護と介護,24巻8号,2019年

③がん看護 様々な発達段階・治療経過にあるがん患者を支える,南江堂,2021年 など



## ■ 受入れ可能な研究内容：大学院生の主な研究課題

### <博士前期課程>

- ・ 手術を受ける老年期がん患者の家族員が看護師とのコミュニケーションにおいて抱く思い  
<https://cir.nii.ac.jp/crid/1050851497136509952>
- ・ 倦怠感のある終末期がん患者に関わる家族の体験  
<https://opac.ll.chiba-u.jp/da/curator/900120304/S13448846-27-2-P39.pdf>
- ・ 外来がん薬物療法を継続する終末期がん患者の家族の体験  
[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjscn/34/0/34\\_34\\_115\\_kawamura/\\_article/-char/ja/](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjscn/34/0/34_34_115_kawamura/_article/-char/ja/)
- ・ 就労世代のがん患者のがん罹患後から離職に至るまでの体験の過程  
[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjscn/35/0/35\\_35\\_10\\_kobayashi/\\_article/-char/ja/](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjscn/35/0/35_35_10_kobayashi/_article/-char/ja/)

### <博士後期課程>

- ・ 進行がん患者と家族の間での終末期の話し合いを促進するための家族への看護プログラムの開発  
<https://cir.nii.ac.jp/crid/1390853649790611712>
- ・ Experience of Japanese pregnant women with cancer in decision-making regarding cancer treatment and obstetric care  
<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/31621200/>